



「Catch Ball キヤッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26 - 9

電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場:Fax 兼用 0187-68-2381)

U R L：<http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>

* 農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

金谷農場

◆農場長より(高橋寿徳)

収穫祭、大農祭、地域産業祭(大仙市秋の稔りフェア)、秋田県種苗交換会そして秋田県農水フードフェスティバルと「大農の力」を十分に地域の皆様にアピールすることができました。地域の皆さんと一体となった「大農」。人口減、少子化等が秋田県の社会問題となっている今日。大農生の若い力が地域に元気を与えたのではないかと確信しております。これからも必要とされる高校でありたいものです。

さて、新聞、テレビ等でTPPへの参加問題が毎日のように報道されています。どのような結果であれ、私たち農業高校生が明日の明るい日本農業を見いだそうではありませんか!!!。

◆施設野菜部門より(平塚・高橋恵)

ハウスの中も秋を感じられ、時折涼しさを覚えるようになりました。

収穫の秋も一区切り、これからは来年へ向けてハウスの補修や土壌消毒などを行っていきます。基本的には人畜無害な方法で行いますが、消毒剤などを使用することもありますのでハウス内への立ち入りには必ず許可を取ってください。

さて、皆さんは「ハダイコン」をご存知ですか?大根葉を品種改良し、生食できるくらい青臭さを取り除いたものです。何だ…大根葉か。と言わず一度お試しください。サラダで食べられるくらい瑞々しくエグ味がありません。もちろん味噌汁の具としても最適です。栄養価も高くこれからどんどん普及していくであろうハダイコン(品種名:葉っちゃん)をよろしくお願いします。

◆露地野菜部門より(佐藤文・佐々木鶴)

異常気象、台風の影響で倒伏等の被害がありました。しかし、少しずつ回復し、現在ではネギ、キャベツ、ブロッコリー等が販売できるようになりました。これも生徒のみなさんが実習を通してがんばったおかげです。ぜひ心のこもった野菜をお買い求めください。

◆果樹部門より(藤井・工藤)

果樹園はリンゴの甘い香りが漂ってきています。残すはリンゴ「ふじ」の収穫のみとなりました。今後は蜜入りの時期となりますので、天候に期待したいところです。

収穫期は現在の成熟度を見ると、例年より一週間程度の遅れが見込まれます。そのため、収穫前に雪が降る心配が…。雪の積もる果柄(ツル)周辺の果肉が凍結し、障害が発生してしまいます。

◆花卉部門より(小松・山代)

横手市で開催された種苗交換会では、大農のシクラメンが主会場のステージを飾りました。秋になってから様々なイベントが続きましたが、葉ボタンもきれいに色づきシクラメンもちょうど咲きそろってくれたので、大農の花々をたくさんの人に見ていただき買って頂く事ができました。お陰様で葉ボタンは完売、シクラメンもあと残りわずかとなりました。ありがとうございました。また、この次もきれいな花を皆さんに見ていただけるようがんばります。

◆食品加工部門より(伊藤寿・瀬田川)

パンの起源

パンの原料である小麦は、紀元前8000～7000年頃、西アジアで栽培されるようになりました。やがて、古代メソポタミアでは、小麦に水を加えて焼き上げた無発酵の平焼きからパンの製造が始まりました。その後、紀元前3000年頃のエジプトで、酵母の発酵作用を利用してふくらませる方法に変化したといわれています。

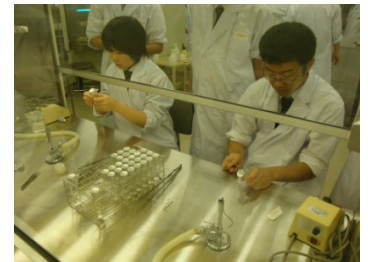
日本へは、約450年前ポルトガル人によってパンが伝来しました。平焼きパンは現在も、インドのチャパティなどとして残っています。

大好評のリンゴジャムの製造が始まります。

リンゴは酸濃度が0.2～0.4%、おもな有機酸の含量はリンゴ酸・クエン酸が70～95%と爽やかな甘さが特徴の果実です。大曲農業高等学校の「リンゴジャム」は厳選した果実とてまひまかけた製造方法で生徒に大人気商品となっています。

◆生物学部門より(坂本寿・大沼・齊藤・佐藤潤)

一年生が初めてクリーンルーム内で培養実験を行いました。培養実験の基本となる無菌操作をランの継代培養で体験し、緊張しながらも実験に取り組んでいました。クリーンルーム、クリーンベンチを完備している高校は県内で本校だけです。新しい大農ブランドの品種作出を目指したいと思います。



大嶋農場

◆大家畜部門より(芳賀、佐々木一)

成牛：てる・りん・さくらの3頭は、毎日ゆったりのんびり過ごしています。りとさくらは、来春の出産に向けたくさんの草を食べ栄養を蓄えています。てるは、1回目の性周期が過ぎても発情兆候が見られないので、妊娠の可能性が出てきました。

子牛：松は、もうすぐ8ヶ月になります。食欲旺盛で体は大きくなっていますが、人なつっこい性格で生徒のブラッシングを楽しんでいます。

牛に触るときは、優しく声をかけ、驚かせないようにして下さい。神経質な牛になってしまうと子牛は成長の妨げになり、管理作業が難儀になることもあるので、ご協力をよろしくお願いします。

◆中家畜部門より(堀部、小林)

肥育中の6頭のブタも全て出荷され、現在は母豚4頭だけになってしまいました。

母豚のお腹が若干大きくなってきたので、「さなぶり用」はどうか間に合ったようです。今年の冬休みは、ベビーラッシュになりそうなので、暖冬になれば助かります。

さなぶりのためにも日頃の飼養管理をお願いします。

◆小家畜部門より(田口健一、冨樫)

様々な秋のイベントが終了し、大嶋農場も冬に向けての準備に入ろうとしています。

来年入ってくる新しいひなを迎える準備も始まっています。今後は比内地鶏育成のために、種卵をふ化するふ卵器の清掃・消毒を行う予定です。

◆作物部門より(高橋寿・佐々木周、黒田)



稲刈り、乾燥調整作業、コメの出荷も終わりました。秋空のもと、出穂まで水田の除草を頑張ってくれたアイガモたちは刈り取った田んぼでランニングです。

雄物川上空には白鳥の飛来も確認でき、冬の訪れも真近になってきました。

